

第26回資料

基本問題委員会の位置づけと 倫理的側面について

2012年6月5日

幸せ経済社会研究所

枝廣淳子

1

基本問題委員会も国民的議論も 単なるパフォーマンス？ ガス抜き？

5月30日夜、再稼働についての関係閣僚会合にて
野田首相「原子力発電は単に夏の電力確保のためだけでなく、社会全体の安定と発展のために引き続き重要だ」

原発が日本社会にとって引き続き重要なのかどう
なのかを白紙から議論しているのではないのか？

基本問題委員会で議論を重ね、選択肢案を作り、
国民的議論を行うことを、どう考えているのか？

2

再稼働問題は国民の信頼回復・ 国民的議論にとってのチャンスのはず

本来なら、リーダーは全体像を示すべき

- 3.11を受けて、あのような悲劇は繰り返さないと固く決意して、エネルギー政策を見直している
- 原発依存度低減を大前提に、エネルギー基本計画を白紙から作り直しているところ
- しかしまだ時間がかかる
- その間、暮らしも経済活動も止めるわけにはいかない
- 電力需要は特に夏に高くなる
- このままだと足りなくなるおそれがある
- 需要抑制と供給確保をこのように懸命に進めている
- しかし、まだこれだけ足りない可能性がある

3

(つづき)

- 従って、この夏の電力不足回避のために、暫定的に再稼働をする必要があると考えている
 - 「暫定的稼働」はいつまでのものか？
 - 安全基準が暫定的である現在、この暫定的稼働にはどのような危険性が考えられるのか？
 - リスク対応はどうするのか？
- 不明点や疑問点はここに問い合わせしてほしい

=====

今回の再稼働は、「基本政策が決まらない間の緊急対応」として議論すべきであり、「原発維持という結論ありきのなし崩しの第一歩」ではない

4

ふたたび、「倫理面」も考えること

- 「経済影響分析に、原発事故で被害に遭った方々の痛みや悲しみは入っていない」という私の発言に対して、「感情を持ち込むな。大事なのは勘定だ」等の批判
- そのとおりで、経済影響分析のところで議論すべきことではない(経済影響分析はあくまで経済的側面の分析なので)が、倫理的側面を議論・考えるセッションがまったくないこと、それも必要なことを伝えたかった

5

「GDPを増やす最も確実な方法の1つは戦争である」

- 戦争に必要なもの(兵器など)を大量に作り、使い、その過程で多くのものを破壊するので、その復旧・復興にも大量の経済活動が必要となるから

×「GDPが増えるから戦争をしよう!」

それは経済的側面だけではなく、人命その他、倫理の問題であるから

6

原発は戦争ではないが、 やはり倫理的にも考える必要がある問題

- 原発事故により、今なお福島県だけでも16万人自宅に戻れないほどの社会的影響
- 今後長期的に人が住めない場所を生んだ
- 人体や生態系への影響
- 未解決で先送りされている核廃棄物の問題（世代間倫理）

など

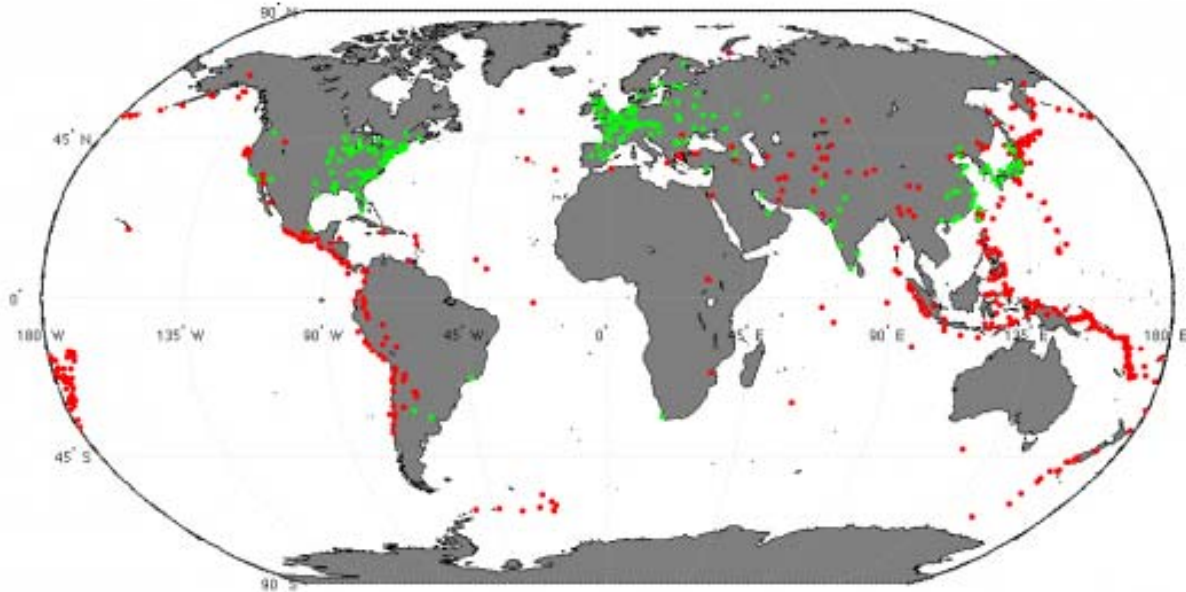
7

ドイツが3.11後に設置した「エネルギー供給に関する倫理委員会」の報告要旨

- ①原発の安全性は高くても、事故は起こりうる
- ②事故になれば、ほかのどんなエネルギー源よりも危険である
- ③次世代に放射性廃棄物処理などを残すのは倫理的問題がある
- ④より安全なエネルギー源がある
- ⑤温暖化問題もあるので、化石燃料の使用は解決策ではない
- ⑥再生可能エネルギー普及とエネルギー効率の改善で段階的に原発ゼロに向かうことは、経済にも大きなチャンスになる

8

地震国・日本での特別な原発リスクを議論すべき



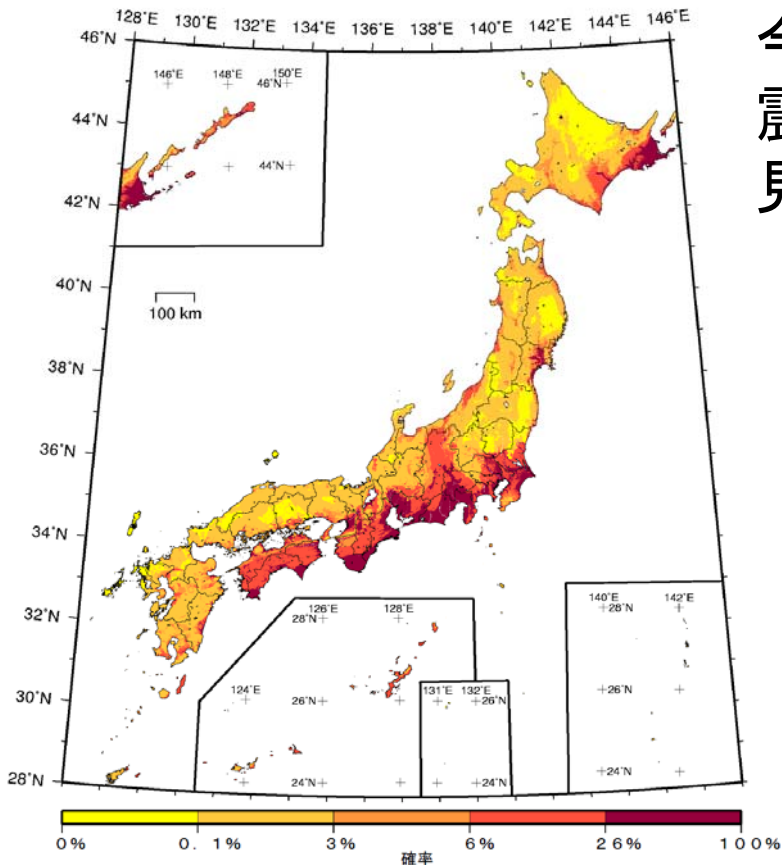
緑点：全世界の商用原子カプラント。222箇所（稼働中、建設中、発注済を含む）。
赤点：1973～2010年におきたマグニチュード7.0以上の地震の震源地。520箇所。

Nuclear Plant Siting and Earthquake Riskにおける記述

As you can see, an overwhelming majority of the world's nuclear plants are located quite far from regions in which large earthquakes typically occur. The main exception is eastern Asia and especially northern Japan.

出典：MIT NSE Nuclear Information Hub
<http://mitnse.com/>

9



今後30年間に
震度6以上の揺れに
見舞われる確率

(モデル計算条件により確率ゼロのメッシュは白色表示)

出典：全国地震動予測地図 2010年版
地震調査研究推進本部地震調査委員会

10

“バランスのとれた”議論を

- 経済的側面だけで議論し結論を出すのは、未来世代に申し開きのできない、倫理にもとる行為
- この基本問題委員会で倫理的側面の議論ができないのなら
 - せめて一人ひとりが考えに入れよう、口に出そう
 - エネルギー環境会議での最終的な選択肢作成時には倫理的側面を入れることを求めよう